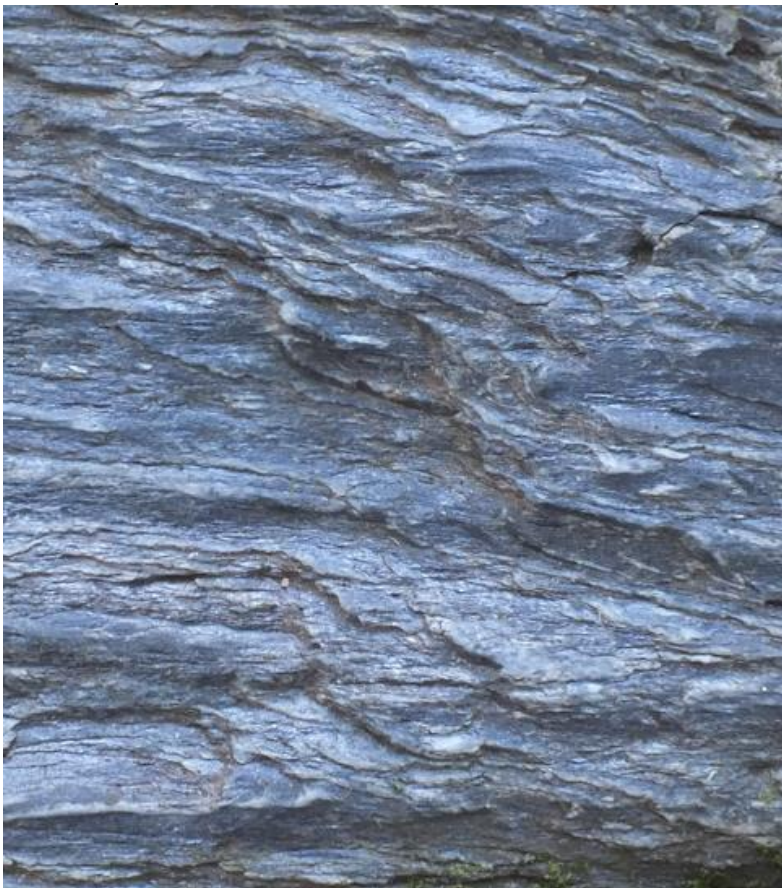




およその大きさ 20×35×15cm



メモ

岩石名

結晶片岩（泥質片岩：広域変成岩）

形の特ちょう（ニックネーム）

色の特ちょう

- ・ 一般的に黒い鉛筆の芯のような光沢

表面の特ちょう

- ・ 黒い鉛筆の芯のような光沢があり
1つの方向性をもっている
- ・ この層は薄い

側面の特ちょう

- ・ 鉛筆芯の輝きをもつ黒い層と白色の層の薄い重なり(互層)になっている
- ・ 互層が褶曲している部分もある

含まれているもの

- ・ 鉛筆の芯の光沢をもつものは
石墨(せきばく=グラファイト)

その他の特ちょう

- ・ 平板状の面の線方向→片理

* **片理**とは、柱状や板状の鉱物が一定方向に並んでできる線状や面状の構造。平板状に割れやすい

【観察メモ】

* この岩石は泥岩を起源とする変成岩と考えられる。泥岩は一般に炭質物を多く含むので、地下深く持ち込まれて高い圧力と温度を受けて石墨（グラファイト＝黒鉛）などの鉱物がつくられ石英質の白い部分との縞模様になった（**変成作用**）

* 石墨は鉛筆の芯にも入っている